

校内研究だより

平成23年6月13日

No. 1

まだ、はっきりと固まらないまま今年度の研究がスタートしました。先生方には御苦労おかけしますが、研究を進める中でもやっとしたところをはっきりさせていきましょう。

6の2の授業研究会から「分数÷分数」から

視点1「生き生きと学ぶ指導法の工夫」

板書の工夫

考えさせる段階での子どもの余計な迷い・不安のつながってしまう



分数は全部逆数にするの？

本時では

$$\text{ア } 4 \div 3 = 4 \div \frac{3}{1} = 4 \times \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$$

逆数にする

こうすれば

$$\text{ア } 4 \div 3 = 4 \div \frac{3}{1} = 4 \times \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$$

逆数にする

困むところに記号も含むことでより焦点化される

視点2「考え合うための場づくり」

本時は自由交流

- ・グループにより絶妙の役割のあるところ
- ・分からないところを自分から聞いている人
- ・自力解決しないでかかわっている
- ・聞く相手がきまっている

意図的な場作り

ペアやグループ交流もある

目標の具体化が大切

説明できるってどういうことなの？

1時間過ぎたところで正解が出る。みんなそれに向かっていく。

「答えが出せること」と「考えが出せること」の2つあったが1つに絞ってはどうか？

途中の子ども達の様子

「答えちがうよ。〇〇だよ。」→正解が何であるか知りたい。正解が不安。

★ここで意図的に正解を示す。「なぜこうなるのか説明できる？」→学習内容の焦点がしぼられる

◎子どもの思考や思いをしっかりとくみ取ることでより焦点をしぼった学びになる

指導案の書き方について

視点1「生き生きと学ぶ指導法の工夫」について

- ・教えるための手立て
- ・「教えること」「考えさせること」明確にした単元構成の工夫と教材研究
- ・教科のこと（算数における基礎学力など）

視点2「考え合うための場づくり」について

- ・発表、交流の場・交流形態の設定と具体的なめあて
- ・めざす学び合う姿
- ・理解深化問題
- ・子どものこと

これで決定と言うのではなく、指導者が書きやすい書き方で。

今年度中にだんだん決めていく。